

富山大学教職員組合第68回定期大会を開催しました

7月13日(木)午後6時15分より、経済学部大会議室において、2017年度富山大学教職員組合第68回定期大会が開催されました。

1 まず資格確認で、代議員出席者17名(定足数13名)が確認され、大会が成立した旨の開会宣言が行われました。その後、議長団の選出が行われ、人間発達科学分会の池田氏、人文・理分会の齋藤氏が選出されました。また、書記には、人文・理分会の中澤氏、人間発達科学分会の中村氏が任命されました。

まず、広瀬中央執行委員長から挨拶があり現在の組合の主な課題について話がありました。

次に、来賓挨拶として、県国公議長の小川さんから、直面している現在人事院勧告と人員削減問題について話があり、富山県高教組の増川委員長からは 地域手当などの取り組みについて紹介がありました。

議事は議案書に沿って行われ、次の件について議事が行われました。

■第1号議案：2016年度活動経過報告が広瀬執行委員長からなされました(議案書P4~18)。

ついで、次のような質疑・討論がなされました。

Q 大会代議員数が少ないのでは？

A 杉谷と高岡は分会が立ち上がっていないため分母に含まれていない。規約改正が必要だが、現実的に投票などができない状態になっている。

Q 現在進行中の「教養教育院選任教員への異動」について、本人の意志に反したり、就業規則に反することがないようにしてほしい。

A 現在把握しているところでは、ポストの異動はポイントの移動で対応する方針であり、問題は起こっていないようだ。

その後採択がなされ、反対0、保留0、賛成16(この時代議員1名退席中)により採択されました。



■第2号議案：2016年度会計決算報告が入江書記長からなされました(議案書P26~30)。その後、2016年度会計監査報告が澤田会計監査からなされました(P31)。

ついで、質疑・討論・採択に入り、反対0、保留0、賛成17によって採択されました。

■第3号議案：2017年度活動方針（案）の説明が藤田執行副委員長からなされました（議案書 P19～25）。ついで、次のような質疑・討論がなされました。

Q 方針I（18）のサバティカル・リープス制度について、各学部の状況を知りたい。

A 組合としても情報を整理してみる。

Q 年俸制が適用されている組合員の組合費はどうなっているか。

A 現在、年俸制適用の組合員は数名いるが、今までの組合員は現行組合費で、今年加入された組合員は、基本の70%で運用している。

意見：6月の評議会で、設置が検討中とされる「富山大学教員採用人事委員会（仮称）」について、恣意的な運用がなされないようにしてほしい。

意見：教養教育院選任教員の条件の問題も含め、教員の担当授業コマ数がこれから極端に増えるようなことが予想されるので、過度の担当コマ数にならないよう対応が必要ではないか。

その後採択がなされ、反対0、保留1、賛成16により採択されました。

■第4号議案：2017年度予算（案）の説明が入江書記長からなされました（議案書 p32～35）

その後、質疑・討論・採択がなされ、反対0、保留0、賛成17名により採択されました。

■第5号議案：2017年度新役員と中央委員の選出について選挙管理委員から説明があり、拍手によって承認されました（議案書 P36）。

2017年度の役員は次の通りです

中央執行院長	中澤 敦夫	（人文・理分会）
同副委員長	藤田 公仁子	（本部分会）
同副委員長	山根 拓	（人間発達科学分会）
書記長	入江 幸二	（人文・理分会）
書記次長	小谷 瑛輔	（人文・理分会）
書記次長	中村 只吾	（人間発達科学分会）
執行委員	末岡 宏	（人文・理分会）
会計監査	澤田 哲生	（人文・理分会）
会計監査	辻本 淳史	（経済分会）



この後、議長団は解任され、新役員の代表として、新役員からそれぞれ挨拶がありました。

引き続き、藤田副委員長の閉会宣言によって、2017年度第68回定期大会は閉会しました。

